

令和2年度 定時社員総会

一般社団法人愛知県環境測定分析協会

〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目2番4号

アイディエリアビル405

電話 : 052-321-3803

FAX : 052-684-4238

E-mail : aikankyo@nifty.com

正会員従業員協会表彰受賞者（10名）

氏 名	所 属 事 業 所
大森 邦弘	株式会社ユニケミー
川崎 彩夏	株式会社イズミテック
岸名 亜紀子	株式会社テクノ中部
澤向 詩織	株式会社環境公害センター
志水 勝亮	株式会社大同分析リサーチ
杉浦 健太郎	株式会社愛研
戸水 雅美子	三協熱研株式会社
丹川 幸久	一般財団法人東海技術センター
三宅 直也	株式会社環境科学研究所
森下 聡	株式会社テクノ中部

（敬称略、五十音順）

令和2年度 定時社員総会

1 審議事項

- (1) 第1号議案 令和元年度事業報告について
- (2) 第2号議案 令和元年度収支決算について

2 報告事項

- (1) 第1号報告 令和2年度事業計画について
- (2) 第2号報告 令和2年度収支予算について

3 その他

令和2年度 環境に関する喚起標語入選者

第1号議案 令和元年度事業報告について

令和元年度の事業実績を以下のとおり報告しますので、ご審議をお願いいたします。

1 正会員数 68社（令和元年度末、年度当初は69社）

2 賛助会員数 16社（令和元年度末、年度当初は17社）

3 令和元年度定時社員総会

開催日・場所：令和元年5月24日（金）・プリンセスガーデンホテル

内 容：計量関係功労者愛知県知事表彰、正会員従業員協会表彰

平成30年度事業報告、同年度収支決算の承認

役員選出、定款変更の承認

特別講演 アライツ社労士事務所 所長 浅野貴之氏

「働き方改革と労働時間管理における具体的な実務対応のポイント！」

4 理事会

開催日	議 題
第1回理事会 元. 5. 8（水）	1 事業経過報告（前回理事会以降）について 2 各委員会活動報告について 3 平成30年度事業報告について 4 平成30年度収支決算について 5 令和元年度定時社員総会について 6 役員及び委員長の選出について 7 令和元年度「正会員従業員表彰」について 8 賛助会員の退会について 9 景況調査について 10 令和元年度行事予定について 11 高校生ものづくり大会への協力について 12 その他
第2回理事会 元. 5. 24（金）	1 会長及び副会長の選定について
第3回理事会 元. 6. 26（水）	1 事業経過報告（前回理事会以降）について 2 各委員会活動報告について 3 高校生ものづくり大会化学部門への協力について 4 日環協・環境セミナー全国大会inくまもとにおける技術発表 について 5 その他

<p>第4回理事会 元.10.9（水）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業経過報告（前回理事会以降）について 2 各委員会活動報告について 3 各ブロック会議（第1回）報告について 4 令和元年度収支決算（中間報告）について 5 事務局の複合機更新について 6 その他
<p>第5回理事会 元.12.6（金）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業経過報告（前回理事会以降）について 2 各委員会活動報告について 3 「環境に関する喚起標語」の募集について 4 愛知県が実施する自然体験プログラムへの協力について 5 その他
<p>第6回理事会 2.3.13（金）</p> <p>※ 新型コロナウイルス対応のため開催を中止（書面による議決・報告に変更）</p>	<p><議決></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度事業計画及び収支予算について 2 愛知県知事表彰（環境保全関係功労者・計量関係功労者）について 3 「環境に関する喚起標語」の選考について <p><報告></p> <ol style="list-style-type: none"> 4 事業経過報告（前回理事会以降）について 5 各委員会活動報告について 6 各ブロック会議（第2回）報告について 7 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止した協会事業について 8 令和2年度「正会員従業員表彰」について 9 その他

5 委員会活動

(1) 総務委員会

開催回数 5回

- ア 平成30年度末に賛助会員1社の退会があり、理事会へ報告した。
- イ 令和元年度「正会員従業員表彰」の候補者を選定した。
- ウ 令和元年度景況調査を実施した。
- エ 令和2年度「環境に関する喚起標語」を募集した。
- オ 高校生ものづくり大会化学部門（愛知県大会）の開催に協力した。
- カ サポーターズメールマガジンを発行した。

(2) 企画・対外交流委員会

開催回数 3回

- ア 施設見学会（核融合科学研究所、丸山ダム及び杉原千畝記念館）を企画・運営した。
- イ 社員総会後の特別講演、環境月間講演会の講師を選定するとともに、それらの開催時に協力した。

- (3) 教育・研修委員会 開催回数 5回
 ア 環境測定分析新任者研修会、初級統計研修会、中堅実務者研修会、環境計量士等研修会及びSOP研修会を企画・開催した。
 イ これまでの経緯・実績を踏まえ、研修会名称や受講料の見直しを行った。
- (4) 広報・ホームページ委員会 開催回数 5回
 ア 会報誌「あいかんきょう」第139、140、141、142号を編集・発行した。
 イ 環境月間講演会を開催した。
 ウ 毎月、愛環協ホームページ（HP）の定期更新を実施した。
 エ HPのリニューアルに向け、日環協との共同運営の検討など進め方を議論した
 オ 令和2年度から開始する、「あいかんきょう」へのチラシ封入サービスの案内と申込書をHPに掲載した。
- (5) 技術委員会 開催回数 3回
 ア 第1回共同実験（水質）を実施し、結果検討会を開催した。
 イ 第2回共同実験（臭気）を実施した。結果検討会は新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から開催を中止し、結果報告書を参加者に送付した。
 ウ 騒音・振動分野の勉強会を計画し、参加者も募集したが、イと同様の理由により開催を中止した。
 エ ガスメーターの自主検査を2回実施した。
- (6) 災害緊急時対応委員会 開催回数 3回
 ア 協定を締結している愛知県、豊橋市、岡崎市、豊田市と災害時を想定した調査訓練をそれぞれ実施した。また、協定に基づく取組について、日環協の環境セミナー全国大会（熊本市）で発表した。
 イ 愛知県、県内市町村及び廃棄物関係団体が実施する災害廃棄物処理に関する図上演習に参加した。
 ウ 災害緊急時対応要領を作成し、災害協力認定会員に送付した。
 エ 「災害時相互支援協定」を締結している7県単（福島、埼玉、神奈川、横浜、愛知、大阪、堺の協議会）の意見交換会に参加した。

6 研修会等実施状況

研修会等の名称 (開催場所)	開催日 (参加者数)	演題及び講師(敬称略)
環境測定分析新任者研修会 (日本特殊陶業市民会館(以下「市民会館」という。))第1会議室)	元.6.13(木) (47名)	I「環境計量の仕事とは」 (一財)東海技術センター 参与 菊谷 彰 II「労働安全衛生」 (株)大同分析リサーチ 環境測定事業部 専門部長 新谷 良英

		<p>Ⅲ 「精度よい測定のために」</p> <p>1. サンプリングの基礎</p> <p>2. 分析技術－化学分析－ (株)テクノ中部 測定分析センター 測定グループ長 清水 久博</p> <p>3. 分析技術－機器分析－</p> <p>4. トレーサビリティー</p> <p>5. 標準物質</p> <p>6. データの取扱 (株)環境科学研究所 環境部次長 牧原 大</p>
環境月間講演会 (市民会館 第1会議室)	元. 6. 21 (木) (46名)	<p>1. 「海洋ごみの対策について」 愛知県環境局資源循環推進課 主査 加藤 敦雄</p> <p>2. 「地域で進める持続可能な開発目標 (SDGs)」 国際連合地域開発センター 研究員 浦上 奈々</p>
初級統計研修会 (市民会館 第2会議室)	元. 7. 11 (木) (16名)	<p>1. 「基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 食品検査室室長 夏目 訓良</p> <p>2. 「検定」 (株)ユニケミー 顧問 服部 寛和</p> <p>3. 「外れ値の検定」 (一社)愛知県薬剤師会 生活科学センター所長 田村 励治</p>
中堅実務者研修会 (市民会館 第2会議室)	元. 9. 19 (木) (15名)	<p>1. 「環境分析及びサンプリングにおける 精度管理」 (一社)愛知県薬剤師会 生活科学センター所長 田村 励治</p> <p>2. 「機器分析の精度管理」 (一財)東海技術センター 調査分析事業部長 土屋 忍</p>

	<p>元. 9. 20 (金) (15名)</p>	<p>3. 「環境法令について」 (一財) 東海技術センター 参与 菊谷 彰</p> <p>4. 「数値の扱い方、下限、妥当性及び基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 食品検査室室長 夏目 訓良</p> <p>5. 「相関分析・回帰分析」 愛知県立岡崎工業高等学校 教諭 井上 満</p> <p>6. 「不確かさの検出」 (株)環境科学研究所 環境部次長 牧原 大</p>
<p>環境計量士等研修会 (市民会館 第1会議室)</p>	<p>元. 11. 15 (金) (37名)</p>	<p>1. 「騒音規制について」 愛知県環境局環境政策部水大気環境課 生活環境地盤対策室主査 前川 高寛</p> <p>2. 「PCB廃棄物の最近の動向について」 愛知県環境局資源循環推進課 廃棄物監視指導室室長補佐 西野 正洋</p> <p>3. 「土壌汚染対策法の改正に伴う調査・元(公財)東京都環境公社東京都環境科学研究所 佐々木 裕子</p> <p>4. 「試薬と標準～適切な試薬(規格)の選び方と品質保証の違いについて」 富士フイルム和光純薬(株) ケミカル開発本部 早川 昌子</p> <p>5. 「工場排水試験方法JISK0102に採用された小型蒸留装置について」 (株)三菱ケミカルアナリテック 技術部開発グループ 大野 慎介</p> <p>6. 「超小型！取扱いが大変簡単な小型蒸留装置の紹介」 (株)三菱ケミカルアナリテック 営業推進部 高橋 正輔</p>

第1回共同実験結果検討会 (市民会館 第1会議室)	元.12.9(月) (23名)	「模擬環境水(汽水域)中の鉛及びほう素の分析」 (株)三進製作所 松田 健次
SOP(標準作業手順書)研修会 (市民会館 第2会議室)	2.1.24(金) (14名)	1.「SOPとは」 2.SOPのグループ作成演習 3.作成したSOPのグループ発表 (株)ユニケミー 取締役 中安 史隆
騒音・振動分野の勉強会 (市民会館 第2会議室)	2.2.26(水)	※ 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため開催を 中止
第2回共同実験結果検討会 (市民会館 第2会議室)	2.2.27(木)	※ 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため開催を 中止 (参加者に「共同実験報告書」を送付)
特別企画セミナー (市民会館 第1会議室)	2.3.19(木)	※ 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため開催を 中止

7 広報活動

(1) 環境保全の必要性及び重要性を広報するとともに、関係機関が開催する行事に積極的に参加した。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

号	発行月日	主 な 記 事
139	H31. 4.20	委員会活動報告 「SOP研修会」受講報告 「大気・臭気WG勉強会」報告 特別企画セミナー報告 環境・時の話題「変わるキログラムの定義」 環境に関する環境標語 入選作品紹介 事務局からのお知らせ
140	R 1. 7.20	新会長としての抱負 会長としての協会活動を振り返って 新理事紹介 委員会活動報告 令和元年度定時社員総会報告 平成30年度景況調査結果報告 平成30年度特別企画セミナーアンケート報告

		環境・時の話題「オゾン層の破壊と代替フロン」 事務局からのお知らせ
141	R 1. 10. 20	大規模地震災害を想定したアスベスト大気環境調査訓練 委員会活動報告 ブロック会議報告 環境月間講演会報告 「初級統計研修会」研修報告 「中堅実務者研修会」研修報告 私の趣味 事務局からのお知らせ
142	R 2. 1. 1	年頭挨拶（会長、愛知県知事） 委員会活動報告 「施設見学会」開催報告 「施設見学会」アンケート結果報告 「環境計量士等研修会」研修報告 教育研修委員会活動を振り返って 環境・時の話題「アスベスト」 事務局からのお知らせ

(3) 情報提供

環境測定分析に関して収集した情報を、情報提供を申し込んだ会員 28 社に随時送付した。

8 共同実験（クロスチェック）

日環協中部支部との共催事業として実施した。

なお、第 2 回共同実験の結果検討会（R 2. 2. 27 開催予定）は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、開催を中止した。

	内 容	実 施 日	参加社数	うち県外
第 1 回共同実験 (水質)	模擬環境水（汽水域）中の鉛 及びほう素の分析	R 1. 7. 16	49社 (50口)	11社 (12口)
	結果検討会 (市民会館 第 1 会議室)	R 1. 12. 9	23名	2名
第 2 回共同実験 (臭気)	環境大気及び放流水の臭気測定（愛知県境川浄化センター で試料を採取）	R 1. 10. 31	19社 (19口)	3社 (3口)

9 環境相談窓口の設置委員会活動

県民からの分析機関の照会や環境に関する相談に対応した。

10 関係行政機関への協力

- (1) 愛環協が、愛知県、豊橋市、岡崎市及び豊田市とそれぞれ締結している協定に基づき、大規模地震災害発生時を想定したアスベスト大気環境調査訓練を境保全の必要性及び重要性を広報するとともに、関係機関が開催する行事に積極的に参加した。
- (2) 愛知県がNPO法人「もりの学舎自然学校」との協働により、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で実施している「自然体験プログラム」（ゴールデンウィーク特別企画）に協賛した。
- (3) 令和元年6月2日に愛知県立愛知総合工科高校で開催された「高校生ものづくりコンテスト（化学分析部門）」愛知県大会を後援するとともに、分析試料の提供及び表彰に協力した。

11 測定済証紙の斡旋

令和元年度には、次のとおり計 670 枚を斡旋した。

水質	183 枚
排ガス	423 枚
騒音	54 枚
計	670 枚

12 ガスメーター自主検査

機器管理基準に基づくガスメーターの自主検査を、(株)テクノ中部の協力により2回実施し、計46台の検査を実施した。

第1回 令和元年7月8日(月)～7月12日(金)	受検台数	23 台
第2回 令和2年1月7日(火)～1月17日(金)	受検台数	23 台
	計	46 台

13 愛知県知事表彰

- (1) 計量関係功労者
内藤茂氏（(株)イズミテック）が、令和元年度定時社員総会の会場で表彰された。
- (2) 環境保全関係功労者
柴田金作氏（藤吉工業(株)）が、令和元年6月7日、愛知県庁正庁で表彰された。

14 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員12名を、令和元年度定時社員総会の席上で表彰した。

受賞者

氏名	所属事業所
五十川裕記	株式会社環境科学研究所
岩田 佳大	株式会社環境公害センター
大岡 義弘	株式会社テクノ中部
金井 敏明	三協熱研株式会社
蟹江 庸久	株式会社ユニケミー
坂口 篤	株式会社テクノ中部
清水 晃一	東亜環境サービス株式会社
白木 俊介	一般社団法人愛知県薬剤師会
三井 和代	一般財団法人東海技術センター
向野 高明	株式会社愛研
山田 麻紀	株式会社ユニケミー
和賀登基文	株式会社環境科学研究所

(氏名の五十音順、敬称略)

1.5 令和2年度環境に係る喚起標語の募集及び活用

環境に係る喚起標語の募集に対し、11社の85名（1名につき1作品限定）から応募があった。この中から特選1作品及び入選9作品を選出し、特選作品については、令和2年度の愛環協喚起標語としてポスター（会員事業所に配付）を作成した（特選・入選の計10作品は、20ページに掲載）。

1.6 ブロック会議

5つのブロックごとに年2回開催し、理事会審議事項の伝達、各会員の近況報告、その他関心事項など、会員相互の情報交換や意思疎通を図り、協会事業の周知と協会に対する要望事項を聴取した。

なお、一部のブロックでは、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、第2回会議の開催を中止し、会議資料の配付をもって開催に代えた。

1.7 関係団体活動

(1) 一般社団法人日本環境測定分析協会中部支部

次の事業を、中部支部と共催で実施（一部の研修会は中部支部から受託）した。

- ア 共同実験（2回）
- イ 環境月間講演会
- ウ 各種研修会

(2) 石川県環境計量協会

石川県環境計量協会が開催した「技術系研修会」（令和元年11月29日）に際し、技術委員を講師として派遣した。

(3) 愛知県計量連合会

県内計量関係団体の一員として、業務の連絡をした。

(4) 中部環境計量士会と連携・協調した。

※ なお、令和元年度の収支決算は、11ページからの「第2号議案 令和元年度収支決算について」のとおりであり、令和2年4月22日（水）に会計監査を受けました（「監査報告書」は14ページに添付してあります）。

併せてご審議をお願いいたします。

第2号議案 令和元年度収支決算について

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	2,491,761	2,401,183	90,578
振替口座預金	0	0	0
定期預金	923,000	913,000	10,000
流動資産合計	3,414,761	3,314,183	100,578
2. 固定資産			
電話加入権	72,000	72,000	0
商標登録権	40,000	40,000	0
固定資産計	112,000	112,000	0
資産合計	3,526,761	3,426,183	100,578
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	20,630	90,085	△ 69,455
前受金	96,000	0	96,000
流動負債計	116,630	90,085	26,545
2. 固定負債			
退職給与引当金	923,000	913,000	10,000
固定負債計	923,000	913,000	10,000
負債合計	1,039,630	1,003,085	36,545
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	2,487,131	2,423,098	64,033
負債及び正味財産合計	3,526,761	3,426,183	100,578

正味財産増減計算書

(令和元年4月1日から令和2年3月31日まで)

単位:円

科目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	8,280,000	8,400,000	△ 120,000
受入会費(賛助会員)	850,000	950,000	△ 100,000
③ 事業収益			
研修会等収入	829,000	1,000,000	△ 171,000
クロスチェック参加料	937,000	528,000	409,000
ガスメーター自主検査料	334,420	237,600	96,820
その他の事業収入	376,400	804,810	△ 428,410
日環協中部支部委託事業収入	713,760	639,877	73,883
雑収入	355,620	752,945	△ 397,325
経常収益計	12,676,200	13,313,232	△ 637,032
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	435,530	481,754	△ 46,224
研修会等費	1,627,402	1,687,059	△ 59,657
クロスチェック費	210,208	407,470	△ 197,262
ガスメーター自主検査費	336,240	239,880	96,360
広報活動費	1,567,623	1,691,500	△ 123,877
ブロック活動費	229,830	280,165	△ 50,335
調査研究費	0	0	0
環境関係行事協賛費	54,000	104,000	△ 50,000
関係団体会費・分担金	0	0	0
九州種子島環境視察関連費	0	273,208	△ 273,208
その他の事業費	26,568	26,568	0

単位:円

科目	当年度	前年度	差異
② 一般管理費			
給与手当	3,241,250	3,270,000	△ 28,750
福利厚生費	1,038,519	857,639	180,880
事務所賃貸料	2,064,951	2,042,880	22,071
水道光熱費	843,052	822,622	20,430
通信運搬費	149,092	151,323	△ 2,231
旅費交通費	71,980	75,140	△ 3,160
印刷費	65,258	52,002	13,256
消耗品費	72,791	91,444	△ 18,653
総会費	189,317	172,159	17,158
その他会議費	122,190	77,724	44,466
事務機リース料	131,931	146,094	△ 14,163
租税公課	80,150	68,518	11,632
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	44,285	57,777	△ 13,492
経常費用計	12,612,167	13,086,926	△ 474,759
当期経常増減額	64,033	226,306	△ 162,273
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	64,033	226,306	△ 162,273
一般正味財産期首財産	2,423,098	2,196,792	226,306
II 正味財産期末残高	2,487,131	2,423,098	64,033

監 査 報 告 書

一般社団法人愛知県環境測定分析協会
会 長 大 野 哲 様

私たちは、一般社団法人愛知県環境測定分析協会の令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）における貸借対照表、正味財産増減計算書等の会計書類及び業務について精査し、監査を行った結果、いずれも正確かつ適正であったことを確認いたしました。

令和2年4月22日

一般社団法人愛知県環境測定分析協会

監 事 柴 田 金 作 

監 事 金 田 哲 夫 

第1号報告 令和2年度事業計画について

注：新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、6月末までに実施する予定の事業は、原則として中止（延期）することとし、**本文中にその旨記載**しました。
また、7月以降の事業についても、今後の状況を踏まえて実施を判断します。

1 研修の開催

1 研修の開催

(1) 環境分析技術、法令等講習会の開催

計量法改正等の説明会を開催する。

開催時期

必要に応じ随時

(2) 環境測定分析技術者研修会の開催

ア 環境測定分析新任者研修会（日環協中部支部より受託予定）

開催時期

令和2年6月5日 **延期**

イ 精度管理研修会①【基礎統計コース】（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和2年7月9日

※ 従来の「初級統計研修会」を改称したもの

ウ 精度管理研修会②【中堅実務コース】（日環協中部支部より受託予定）

開催時期

令和2年9月17・18日

※ 従来の「中堅実務者研修会」を改称したもの

エ SOP（標準作業手順書）研修会（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和3年1月20日（予定）

オ 大気・臭気分野の勉強会

開催時期

令和3年2月（予定）

(3) 環境計量士等研修会の開催（日環協中部支部と共催）

環境計量士を対象として、環境問題に対する認識を深め、新しい分析技術を習得する。

開催時期

令和2年11月20日

(4) 特別企画セミナーの開催（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和3年3月（予定）

2 広報活動

(1) 環境保全広報の実施

環境保全の必要性や重要性を県民に広報する。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

年4回発行し、協会事業等を会員及び関係者に広報する。

会報誌の発送時に広告チラシを同封するサービスを開始する。

(3) 情報提供

環境測定分析に関して収集した情報を、インターネット等を通じて提供する。

(4) 「愛環協サポーターズ メールマガジン」の運営 不定期

(5) 環境関連事項についての調査

(6) 環境月間講演会の開催

令和2年6月19日 **中止**

3 共同実験（クロスチェック） 2回

分析技術の精度向上のため、会員以外の者も対象として実施する。

また、共同実験参加者による結果検討会を開催する。

第1回 水質関係の測定分析 令和2年 8月（予定）

第2回 騒音関係の測定分析※ 令和2年11月（予定）

※ 第2回共同実験を、元年度から延期している勉強会に振り替える予定。

4 施設見学会の実施

会員の環境に対する幅広い視野と知識を涵養するために実施する。

5 環境相談窓口

県民からの測定分析その他環境に関する問合せに対応する。

6 関係行政機関行事への協力

(1) 愛知県環境局等の防災訓練に協力連携し、協定に基づく訓練を実施する。

(2) 愛知県環境局と「もりの学舎自然学校」が協力して「モリコロパーク」で行う自然とのふれあい事業に協賛する。 **中止**

(3) 「高校生ものづくりコンテスト（化学分析競技）」愛知大会※に協力する（試料調製、表彰状作成）。

※ 令和2年5月31日に開催予定（東海大会・全国大会は愛知県外で開催予定）

愛知大会・東海大会・全国大会 全て中止

7 測定済証の発行

定期測定分析事業所に対し測定済証を貼付することにより測定済証の実施の履行を図る。

8 ガスメーター自主検査事業の実施

2回

9 愛環協ホームページの運営

毎月更新

10 計量証明書「承認様式」の認証

随時

11 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員を表彰する。

1.2 喚起標語の募集及び活用

令和2年12月（募集）

環境に関する喚起標語を募集し、優秀作品の作者を定時社員総会において表彰するとともに、最優秀作品は愛環協喚起標語としてポスターを作成し、会員事業所に配付する。

1.3 景況調査の実施

令和3年2月

正会員に対して景況調査を実施する。

1.4 ブロック会議の開催

2回

理事会審議事項の伝達、会員相互の情報交換及び親睦等のため、各ブロック毎又は合同で会議を開催する。

1.5 海外研修生の受入

関係機関・団体からの依頼があれば、研修生を受け入れる会員事業所を募り実施する。

1.6 関係団体との連携協調

- (1) (一社)日本環境測定分析協会、同中部支部と研修や共同実験、セミナー等を共催で実施するなど、連携協調を図る。
- (2) 「災害時相互支援協定」を締結している7県単※の意見交換会*を県内で開催する。
※ (一社)愛知県環境測定分析協会、(一社)神奈川県環境計量協議会、(一社)埼玉県環境計量協議会、堺市環境計量協議会、(一社)福島県環境測定・放射能計測協会、横浜市環境技術協議会、大阪環境測定分析事業者協会
* 令和2年10月中旬～11月中旬を想定（元年度は2月17日に横浜市で開催）
- (3) (一社)愛知県計量連合会、中部環境計量士会と連携協調を図る。

令和2年度収支予算

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

単位:円

科目	令和2年度予算(a)	令和元年度予算(b)	差異(a-b)
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	8,280,000	8,280,000	0
受取会費(賛助会員)	1,000,000	1,000,000	0
③ 事業収益			
研修会等収入	1,250,000	1,200,000	50,000
クロスチェック参加料	750,000	750,000	0
ガスメーター自主検査料	285,000	280,000	5,000
その他の事業収入	800,000	800,000	0
日環協中部支部委託事業収入	640,000	640,000	0
雑収入	250,000	250,000	0
経常収益 計	13,255,000	13,200,000	55,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	450,000	450,000	0
研修会等費	1,650,000	1,600,000	50,000
クロスチェック費	550,000	550,000	0
ガスメーター自主検査費	285,000	280,000	5,000
広報活動費	1,700,000	1,700,000	0
ブロック活動費	350,000	350,000	0
調査研究費	30,000	30,000	0
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
関係団体会費・分担金	0	0	0
環境相談事業費	5,000	5,000	0
その他の事業費	50,000	50,000	0
事業費 計	5,125,000	5,070,000	55,000

単位:円

科目	令和2年度予算(a)	令和元年度予算(b)	差異(a-b)
② 一般管理費			
給与手当	3,270,000	3,270,000	0
福利厚生費	860,000	860,000	0
事務所賃貸料	2,100,000	2,100,000	0
水道光熱費	850,000	850,000	0
通信運搬費	160,000	160,000	0
旅費交通費	80,000	80,000	0
印刷費	50,000	50,000	0
消耗品費	100,000	100,000	0
総会費	250,000	200,000	50,000
その他会議費	100,000	100,000	0
事務機リース料	150,000	150,000	0
租税公課	70,000	70,000	0
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	80,000	130,000	△ 50,000
一般管理費 計	8,130,000	8,130,000	0
経常費用計	13,255,000	13,200,000	55,000
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
予備費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	0	0	0
一般正味財産期首財産	0	2,393,098	△ 2,393,098
II 正味財産期末残高	0	2,393,098	△ 2,393,098

科目間の流用を認める

令和2年度 環境に関する喚起標語入選者

区分	標 語	氏 名	所 属
特選	持続可能な社会のために 測って貢献SDGs	安藤 正雄	(株)イズミテック
入選	小さな意識で 未来は変わる 守ろう地球環境	神谷 明寿	サンエイ(株)
入選	正しい計量 確かな管理 目指すあなたに金メダル	高須 啓史	名南サービス(株)
入選	うまくやるより確実に 早くやるより正確に 無理なくミスなく手抜きなく 環境分析でつながるワンチーム!	中島 勇一	日本空調サービス(株)
入選	確かな計量で、守ろう環境、つなごう未来	中道 千尋	藤吉工業(株)
入選	計量は基本操作の積み重ね 作業手順を守って正しく計量	夏目 訓良	(株)東海分析化学研究所
入選	正しい知識と確かな技術で 築こう未来の 環境保全	畠山 陽子	(株)環境科学研究所
入選	見えないものを 確かに測る 信頼築く 測定技術	日和田志郎	(株)環境科学研究所
入選	昨日の反省 今日の確認 高まる明日の精確性	水谷 俊介	(株)環境科学研究所
入選	ONE TEAM みんなで築こう信頼を 確かな技術で 正しい計量	和賀登基文	(株)環境科学研究所

注：入選作品は、氏名（敬称略）の50音順